野蒜復興新聞

森の学校は今

宮野 校現舎 は 野蒜

(野蒜

年を

丘

となります。

手されています。

鳴瀬未来中学校の新校舎の整備

月建部小 設丘学 0

完中陵 開成で地の あ小台すくびン在 ° ŋ `0 こが復森東れこ続興財松に 校舎のおればいる。 。 舎れ 地裏宮しての定ア域山野くい森をフ のに森高まづ結

的新方

地域の方 行われて てい 々と共に定期的 ・ます

て

会

要々

のなま部

選専ち会

出門づの

の等い

更一たたに般め活連の、動

め民会

連の

そ沿再

つ編

また。門お29 部い日 7 の野日 体ま野 会ち蒜 動野議 がづ市 携地各を蒜会 ゚゙∘を域自行まで 開く民 催りセ 深住治っちは さ協ン

ま会

専門部会全体会が開催されまし野蒜まちづくり協議会 た

が新 待しり 遠しい ね完け ね

徐々に本校舎の様子が見えてきました。

(平 成

28年5月末頃撮影

な校々

森舎と が完共

く成に

りに宮 が合野 進わ森

んでお た た た た た た

り期の

野蒜まちづくり協議会 イメージキャラクター マッくん

さ動体わに員等事 れが的れ話をが業今 す。る開な

れらなかました 大田をかました 大石の部画の概要となる方と 具合心会画の表した。

29日(日)専門部会全体会の様

野蒜北部丘陵振興協議会

催宅も 蒜 5 催宅蒜蒜り ポケ ボカ 北部 28 日 れ引 しの陵 。式最地 が初区に



⋖宅地引渡し式終了後、地鎮

祭を実施する世帯もありま



待ちに待った!

業ケ丘

集世野28

でま内丘総22

のケ度月

1移が

8予催世定さ

帯のれ平

転開日

成

28

年

度

総

案総ま帯赤ヶヶ月

いはこ

次

さ3

れつ

地

28日(土)宅地引渡し式の様子

す月次引様をケじス日を 。末行き子楽丘がイを受 地 わ渡でしですッ迎け回い書が代引 それしている。 一大のではたい。 一大のではたい。 一大のではたい。 一大のでは、 一ないでは、 一ないでは て回後宅ていと っ持 引 の長 てが区 いはも地い生野たち لح 3 行画 ま九順のる活蒜感に今し 名引名わの

> まれの称区野審 ま議を域蒜舗と案合のケー たがめ範丘の 囲の結 認全と行果

い画部いお丘 し議 てお丘てよ陵① ③よ陵②び振平 野び振平収興成 蒜収興成支協27 の北支協28決議年 行部予議年算会度 政丘算会度報事野 区陵案事野告業蒜 域地に業蒜に報北

野蒜ケ丘の行政 X

に区つ計北つ告部 まの が全 野蒜ケ丘 域の 野蒜ケ丘三

を の 位 置 ず決 め る世 ŋ 居, \mathcal{O} 住居

ゴ野の工災 一ミ出た地 蒜位リ害 ア公 住住 戸宅 の向形 個け 式希 課方 間 法 取 等 の 検の

園共討 良舒

0

3 の開転 ュ防の施等 ニ犯遊費 自世テ灯 イ等やの 治帯 会がのの住検 五の地で設置社会に民植 区に 画 割会 \mathcal{O} ŋ す 検 やる活全] 動体 \mathcal{O} 植

内会

誌団活 を移再検催希 転建討 にに 「関する」) 対る情報を掲れ がる広報の実施 度 載 た広

8 9 10 11 12 2 入居位置調整 位置決めルールの検討 ■災害公営住宅の位置決めの 検討、実施 入居予定世帯の位置決め 行政区域の検討 ■野蒜ケ丘地区の個別課題の ※検 ゴミ出しや生活環境などのルールの検討等 討 〈公園遊具、植栽(住民植樹スパース)の検討〉 ■公共施設等の検討 防犯灯の設置計画の検討等 顔合わせ会等 ■コミュニティの醸成 自治会の活動内容の検討等 合 生活再建に係る広報活動の実施 ■生活再建に係る広報活動の せ (2号) 1号

5 月 日 日 総会の

部会(合同会議)、

時総会等を開

催

北 部 丘 亚陵

(5) 4 報集生容の移コ栽公公検

示る供度来期がるがか

こ用の中よ本宮進とが2学り年野め

が開学校

田の中よ本宮進ら、

改始期が鳴の小れ在事

めさよ来瀬3学て整務

てれり年未学校い備局

度森ら現